

○外科専門研修プログラム 概要

専門研修プログラム研修施設評価・認定部門外科研修委員会委員長、
日本専門医機構理事
(日本外科学会副理事長・専門医制度委員長)
北川 雄光

外科専門研修プログラムは、標準的かつ包括的な外科医療を提供することにより国民の健康を保持し福祉に貢献する外科専門医を育成することを目的とし、研修期間は 3 年以上としております。

1. 専攻医の研修施設である基幹施設・連携施設の要件の概要（詳細：外科専門研修プログラム整備基準）

—基幹施設の要件概要—

- ① 初期臨床研修の基幹型臨床研修病院の指定基準を満たす。
- ② 日本外科学会指導医，外科専門医が合計 3 人以上常勤し，うち 2 名はプログラム統括責任者の基準を満たしている。
- ③ 外科系病床として常時 30 床を有している。
- ④ 年間 500 例以上の NCD 登録外科手術症例数を有している。
- ⑤ 現行の日本外科学会の指定施設であり，3 領域以上のサブスペシャリティ領域学会の修練施設（消化器外科学会専門医制度指定修練施設，心臓血管外科基幹（関連）施設，呼吸器外科基幹（関連）施設，小児外科学会認定（教育関連）施設）である。

—連携施設の要件概要—

- ① 専門研修指導医（外科専門医更新を 1 回以上経た外科専門医）が最低 1 人以上常勤している。
- ② 年間 50 例以上の NCD 登録外科手術例数を有している。

なお、地域医療に配慮した規定外救済措置は専門研修プログラム研修施設評価・認定部門で個別に協議・判断いたします。

2. 専攻医のローテーション期間の考え方

専攻医は基幹施設、連携施設にそれぞれ最低 6 か月以上の研修を必須と規定してあります。連携施設 1 施設あたりの最低研修期間は規定してありません。

○これまで学会認定の教育施設であったもので、現時点で基幹施設にも連携施設にも入っ

ていない施設の状況やそれらの施設に対する考え方

外科学会の修練施設は指定施設が 1221 施設、関連施設が 854 施設の計 2075 施設あり、今回申請されたプログラムに含まれていない 342 施設に対し、新専門医制度の連携施設となることを希望するかどうか学会事務局より照会しております。参加を希望する施設には、地域の研修プログラムへの仲介を行います。

○定員数調整の状況（机上配布資料 3 グループ後の募集定数は正案）

外科専攻医募集定員数は、昨年の事前アンケート調査では約 3500 人超でしたが、今回の申請に当たり現行の実績をもとに適正な募集数とするようにアナウンスしたことにより、2159 人の募集定員となりました。外科後期研修医の過去の実績（800~900 人）からするとまだ 2 倍以上であることから以下の調整を行う予定です。

まず、申請プログラムの専攻医受入上限数で 30 人以上の大型、10 人以上 30 人未満の中型、10 人未満の小型の 3 グループに分類し、初年度募集数を大型で大学プログラムは受け入れ上限の 30%、大学以外の大型は 33%、中型は 40%、小型は 100%とし、地方の小型プログラムに有利な条件として、募集総数を 2000 弱まで絞り込みました。また、大型で都会の大学プログラムには現行の実績をもとに更なる調整を検討しております。

○研修施設が存在しない 2 次医療圏についての状況（2 次医療圏集計結果）

344 の 2 次医療圏の中で外科領域の研修施設が存在しないのは 14 医療圏（4.1%）でした。そのうち 13 医療圏には過去に外科学会の修練施設として指定を受けた施設が 25 施設認めましたので、新専門医制度の連携施設となることを希望するかどうか学会事務局より問い合わせしております。参加を希望する施設には、地域の基幹プログラムへの仲介を行う予定です。

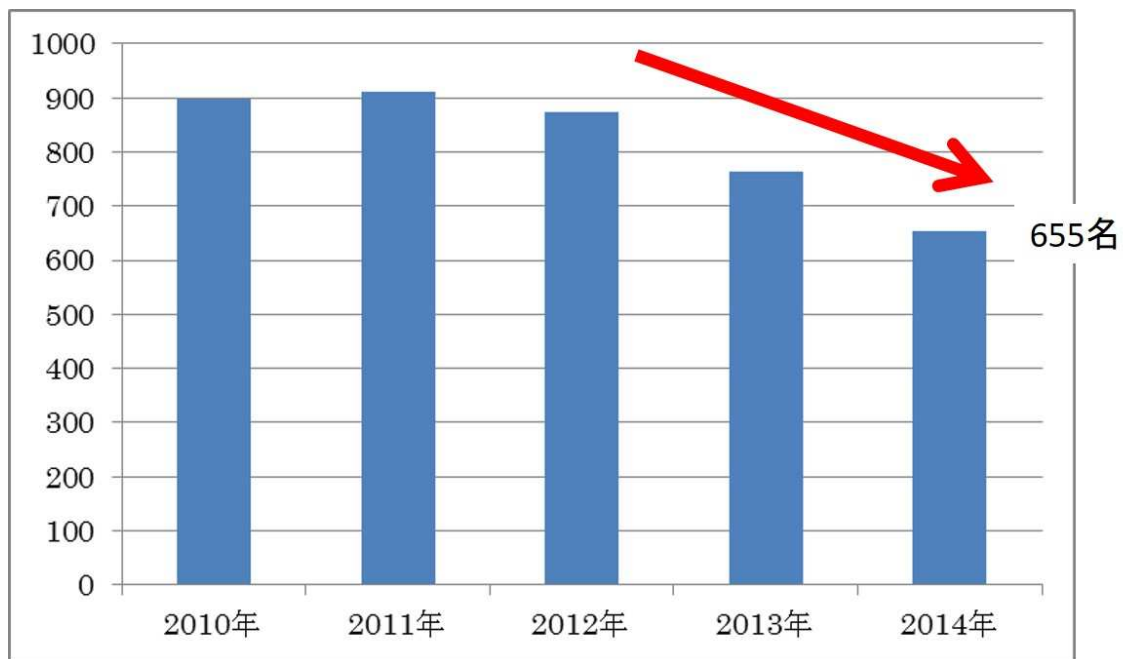
○都道府県との調整の状況

具体的な都道府県との調整状況について各基幹プログラムより報告はございませんが、地域によっては自治体、医師会と協議を行って作成したプログラムもございます。

○その他特記すべき確認・調整事項

大病院（500 床以上）のみの連携プログラムについては、地域の中小病院を連携に含めるよう勧告する予定です。

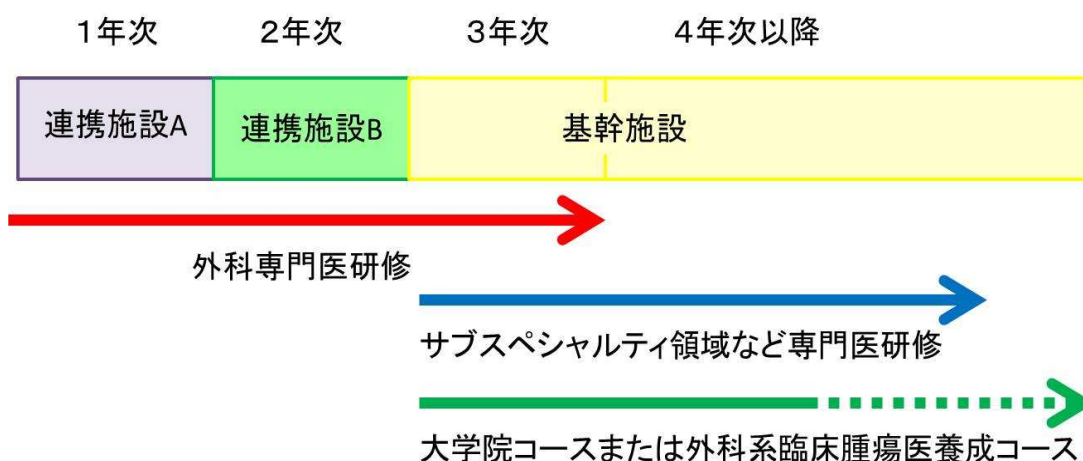
また、「地域医療への配慮を求める陳情」についてはその内容をしっかり精査し、柔軟な対応を検討中です。



外科後期研修に入った医師数の変遷

外科領域モデルプログラム ローテーションパターン例

A大学外科研修プログラムの1例を示します。専門研修1・2年目は連携施設、専門研修3年目は基幹施設での研修です。3施設は全て異なる医療圏に存在します。



A大学外科研修プログラムでの3年間の施設群ローテーションにおける研修内容と予想される経験症例数を下記に示します。どのコースであっても内容と経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。

A大学外科研修プログラムの研修期間は3年間としていますが、習得が不十分な場合は習得できるまで期間を延長することになります（未修了）。一方で、カリキュラムの技能を習得したと認められた専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能教育を開始し、また大学院進学希望者には、臨床研修と平行して研究を開始することができます。

- 専門研修1年目
連携施設群Aのうちいずれかに所属し研修を行います。
一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌
経験症例 200 例以上 (術者 30 例以上)
- 専門研修2年目
連携施設群Bのうちいずれかに所属し研修を行います。
一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌
経験症例 350 例以上/2年 (術者 120 例以上/2年)
- 専門研修3年目
原則としてA大学病院で研修を行います。

不足症例に関して各領域をローテートします。

(サブスペシャリティ領域などの専門医連動コース)

A大学病院でサブスペシャリティ領域（消化器外科，心臓・血管外科，呼吸器外科，小児外科）または外科関連領域（乳腺など）の専門研修を開始します。

(大学院コース)

大学院に進学し，臨床研究または学術研究・基礎研究を開始します。ただし，研究専任となる基礎研究は6か月以内とします。(外科専門研修プログラム整備基準 5.11)

3) 研修の週間計画および年間計画

基幹施設（A大学病院例）

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-7:30 抄読会、勉強会							
7:0-8:00 朝カンファレンス							
8:00-10:00 病棟業務							
10:00-12:00 午前外来							
12:00-14:00 午後外来							
9:00- 手術							
15:30-16:30 総回診							
17:30- 放射線診断合同カンファレンス							
17:30-内科外科合同カンファレンス							
18:30- 病理合同カンファレンス							
17:30-18:30 医局全体ミーティング							

連携施設（C市立病院例）

	月	火	水	木	金	土	日
7:00-7:30 抄読会、勉強会							
7:0-8:00 朝カンファレンス							
8:00-10:00 病棟業務							
10:00-12:00 午前外来							
9:00- 手術							
15:30-16:30 総回診							
17:30- 放射線診断合同カンファレンス							
18:30- 病理合同カンファレンス							

二次医療圏集計結果

都道府県	二次医療圏名	該当施設数	過去に外科学会の施設指定を受けたことのある施設数
北海道	南渡島	7	
北海道	南檜山	0	1
北海道	北渡島檜山	1	
北海道	札幌	45	
北海道	後志	6	
北海道	南空知	4	
北海道	中空知	3	
北海道	北空知	1	
北海道	西胆振	5	
北海道	東胆振	4	
北海道	日高	3	
北海道	上川中部	9	
北海道	上川北部	2	
北海道	富良野	1	
北海道	留萌	0	3
北海道	宗谷	1	
北海道	北網	4	
北海道	遠紋	2	
北海道	十勝	6	
北海道	釧路	5	
北海道	根室	1	
青森県	津軽地域	8	
青森県	八戸地域	5	
青森県	青森地域	4	
青森県	西北五地域	4	
青森県	上十三地域	4	
青森県	下北地域	1	
岩手県	盛岡	5	
岩手県	岩手中部	2	
岩手県	胆江	3	
岩手県	両磐	2	
岩手県	気仙	1	
岩手県	釜石	1	
岩手県	宮古	1	
岩手県	久慈	1	
岩手県	二戸	1	
宮城県	仙南	2	
宮城県	仙台	23	
宮城県	大崎・栗原	2	
宮城県	石巻・登米・気仙沼	3	
秋田県	大館・鹿角	3	
秋田県	北秋田	1	
秋田県	能代・山本	3	
秋田県	秋田周辺	7	
秋田県	由利本荘・にかほ	2	
秋田県	大仙・仙北	2	
秋田県	横手	3	
秋田県	湯沢・雄勝	2	
山形県	村山	9	
山形県	最上	1	
山形県	置賜	4	
山形県	庄内	3	
福島県	県北	12	
福島県	県中	8	

二次医療圏集計結果

都道府県	二次医療圏名	該当施設数	過去に外科学会の施設指定を受けたことのある施設数
福島県	県南	3	
福島県	会津	5	
福島県	南会津	1	
福島県	相双	3	
福島県	いわき	4	
茨城県	水戸	8	
茨城県	日立	4	
茨城県	常陸太田・ひたちなか	5	
茨城県	鹿行	5	
茨城県	土浦	2	
茨城県	つくば	6	
茨城県	取手・竜ヶ崎	8	
茨城県	筑西・下妻	1	
茨城県	古河・坂東	5	
栃木県	県北	7	
栃木県	県西	2	
栃木県	宇都宮	6	
栃木県	県東	1	
栃木県	県南	8	
栃木県	両毛	2	
群馬県	前橋	6	
群馬県	高崎・安中	8	
群馬県	渋川	3	
群馬県	藤岡	2	
群馬県	富岡	1	
群馬県	吾妻	1	
群馬県	沼田	2	
群馬県	伊勢崎	5	
群馬県	桐生	1	
群馬県	太田・館林	5	
埼玉県	南部	7	
埼玉県	南西部	6	
埼玉県	東部	19	
埼玉県	さいたま	14	
埼玉県	県央	5	
埼玉県	川越比企	12	
埼玉県	西部	9	
埼玉県	利根	6	
埼玉県	北部	7	
埼玉県	秩父	2	
千葉県	千葉	15	
千葉県	東葛南部	21	
千葉県	東葛北部	16	
千葉県	印旛	6	
千葉県	香取海匝	5	
千葉県	山武長生夷隅	7	
千葉県	安房	2	
千葉県	君津	1	
千葉県	市原	5	
東京都	区中央部	30	
東京都	区南部	12	
東京都	区西南部	18	
東京都	区西部	16	
東京都	区西北部	19	

二次医療圏集計結果

都道府県	二次医療圏名	該当施設数	過去に外科学会の施設指定を受けたことのある施設数
東京都	区東北部	18	
東京都	区東部	11	
東京都	西多摩	4	
東京都	南多摩	15	
東京都	北多摩西部	8	
東京都	北多摩南部	8	
東京都	北多摩北部	8	
東京都	島しょ	0	0
神奈川県	横浜北部	10	
神奈川県	横浜西部	16	
神奈川県	横浜南部	14	
神奈川県	川崎北部	7	
神奈川県	川崎南部	11	
神奈川県	横須賀・三浦	9	
神奈川県	湘南東部	5	
神奈川県	湘南西部	7	
神奈川県	県央	8	
神奈川県	相模原	8	
神奈川県	県西	3	
新潟県	下越	1	
新潟県	新潟	7	
新潟県	県央	0	6
新潟県	中越	5	
新潟県	魚沼	3	
新潟県	上越	5	
新潟県	佐渡	0	1
富山県	新川	3	
富山県	富山	9	
富山県	高岡	5	
富山県	砺波	3	
石川県	南加賀	3	
石川県	石川中央	17	
石川県	能登中部	3	
石川県	能登北部	3	
福井県	福井・坂井	9	
福井県	奥越	1	
福井県	丹南	3	
福井県	嶺南	3	
山梨県	中北	10	
山梨県	峡東	5	
山梨県	峡南	1	
山梨県	富士・東部	5	
長野県	佐久	5	
長野県	上小	1	
長野県	諏訪	4	
長野県	上伊那	5	
長野県	飯伊	2	
長野県	木曾	1	
長野県	松本	11	
長野県	大北	2	
長野県	長野	6	
長野県	北信	2	
岐阜県	岐阜	12	
岐阜県	西濃	6	

二次医療圏集計結果

都道府県	二次医療圏名	該当施設数	過去に外科学会の施設指定を受けたことのある施設数
岐阜県	中濃	6	
岐阜県	東濃	6	
岐阜県	飛騨	5	
静岡県	賀茂	2	
静岡県	熱海伊東	3	
静岡県	駿東田方	11	
静岡県	富士	5	
静岡県	静岡	10	
静岡県	志太榛原	4	
静岡県	中東遠	5	
静岡県	西部	10	
愛知県	名古屋	27	
愛知県	海部	3	
愛知県	尾張中部	0	1
愛知県	尾張東部	4	
愛知県	尾張西部	6	
愛知県	尾張北部	7	
愛知県	知多半島	6	
愛知県	西三河北部	5	
愛知県	西三河南部西	6	
愛知県	西三河南部東	2	
愛知県	東三河北部	1	
愛知県	東三河南部	7	
三重県	北勢	12	
三重県	中勢伊賀	10	
三重県	南勢志摩	6	
三重県	東紀州	2	
滋賀県	大津	4	
滋賀県	湖南	7	
滋賀県	甲賀	1	
滋賀県	東近江	5	
滋賀県	湖東	2	
滋賀県	湖北	2	
滋賀県	湖西	1	
京都府	丹後	3	
京都府	中丹	6	
京都府	南丹	4	
京都府	京都・乙訓	28	
京都府	山城北	7	
京都府	山城南	1	
大阪府	豊能	12	
大阪府	三島	12	
大阪府	北河内	19	
大阪府	中河内	8	
大阪府	南河内	13	
大阪府	堺市	11	
大阪府	泉州	11	
大阪府	大阪市	48	
兵庫県	神戸	27	
兵庫県	阪神南	12	
兵庫県	阪神北	12	
兵庫県	東播磨	10	
兵庫県	北播磨	5	
兵庫県	中播磨	8	

二次医療圏集計結果

都道府県	二次医療圏名	該当施設数	過去に外科学会の施設指定を受けたことのある施設数
兵庫県	西播磨	5	
兵庫県	但馬	2	
兵庫県	丹波	3	
兵庫県	淡路	3	
奈良県	奈良	7	
奈良県	東和	4	
奈良県	西和	5	
奈良県	中和	6	
奈良県	南和	1	
和歌山県	和歌山	4	
和歌山県	那賀	1	
和歌山県	橋本	1	
和歌山県	有田	0	2
和歌山県	御坊	2	
和歌山県	田辺	3	
和歌山県	新宮	2	
鳥取県	東部	4	
鳥取県	中部	2	
鳥取県	西部	7	
島根県	松江	6	
島根県	雲南	2	
島根県	出雲	4	
島根県	大田	1	
島根県	浜田	2	
島根県	益田	2	
島根県	隠岐	0	1
岡山県	県南東部	13	
岡山県	県南西部	13	
岡山県	高梁・新見	0	2
岡山県	真庭	3	
岡山県	津山・英田	1	
広島県	広島	21	
広島県	広島西	2	
広島県	呉	4	
広島県	広島中央	6	
広島県	尾三	8	
広島県	福山・府中	12	
広島県	備北	2	
山口県	岩国	3	
山口県	柳井	3	
山口県	周南	4	
山口県	山口・防府	9	
山口県	宇部・小野田	10	
山口県	下関	5	
山口県	長門	2	
山口県	萩	2	
徳島県	東部	10	
徳島県	南部	4	
徳島県	西部	2	
香川県	大川	2	
香川県	小豆	0	1
香川県	高松	8	
香川県	中讃	5	
香川県	三豊	1	

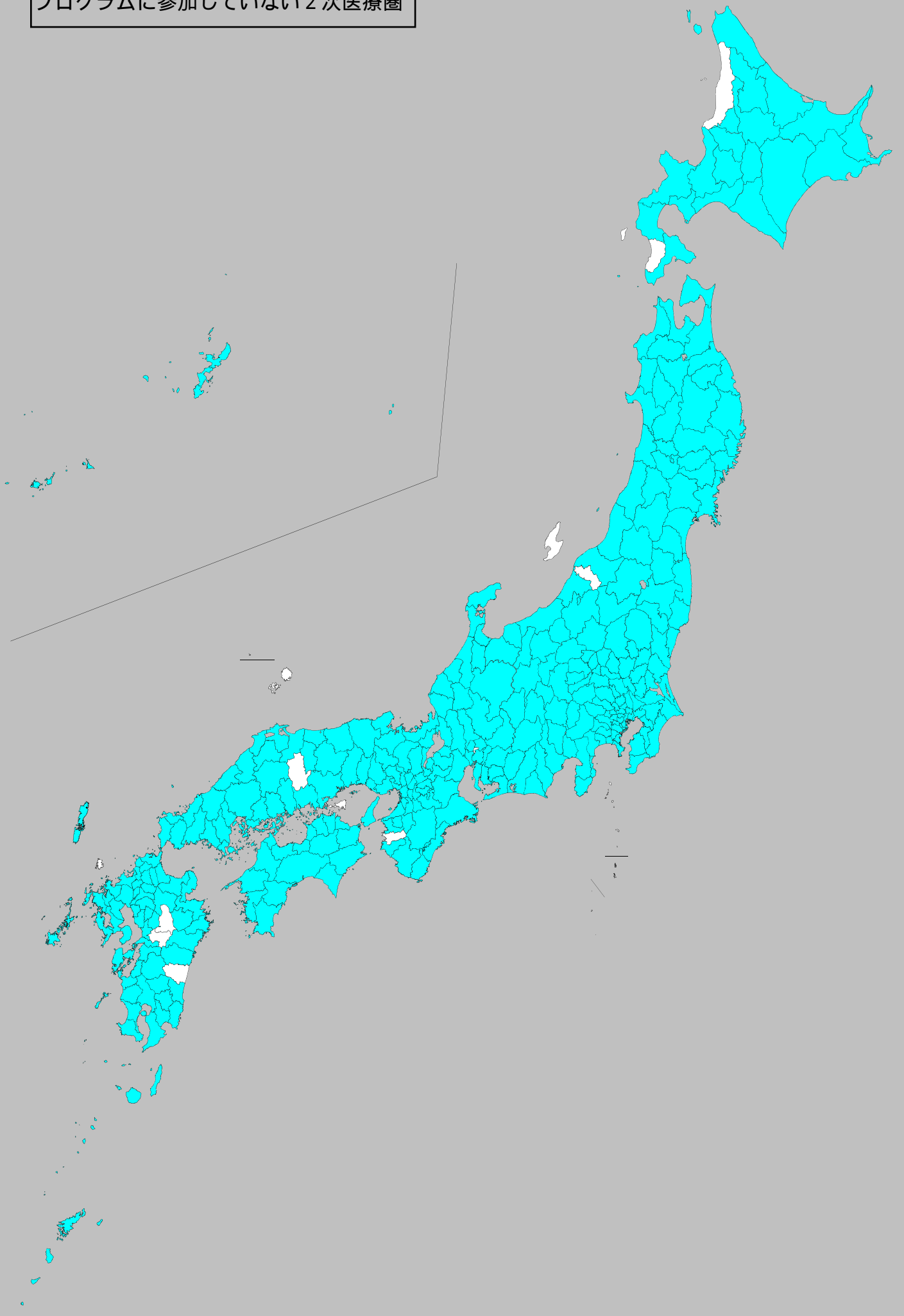
二次医療圏集計結果

都道府県	二次医療圏名	該当施設数	過去に外科学会の施設指定を受けたことのある施設数
愛媛県	宇摩	2	
愛媛県	新居浜・西条	7	
愛媛県	今治	3	
愛媛県	松山	10	
愛媛県	八幡浜・大洲	3	
愛媛県	宇和島	1	
高知県	安芸	2	
高知県	中央	15	
高知県	高幡	3	
高知県	幡多	3	
福岡県	福岡・糸島	22	
福岡県	粕屋	3	
福岡県	宗像	2	
福岡県	筑紫	4	
福岡県	朝倉	1	
福岡県	久留米	8	
福岡県	八女・筑後	3	
福岡県	有明	7	
福岡県	飯塚	3	
福岡県	直方・鞍手	3	
福岡県	田川	2	
福岡県	北九州	24	
福岡県	京築	1	
佐賀県	中部	4	
佐賀県	東部	1	
佐賀県	北部	2	
佐賀県	西部	1	
佐賀県	南部	4	
長崎県	長崎	12	
長崎県	佐世保県北	5	
長崎県	県央	5	
長崎県	県南	1	
長崎県	五島	1	
長崎県	上五島	1	
長崎県	壱岐	0	1
長崎県	対馬	1	
熊本県	熊本	12	
熊本県	宇城	3	
熊本県	有明	2	
熊本県	鹿本	1	
熊本県	菊池	1	
熊本県	阿蘇	0	2
熊本県	上益城	0	1
熊本県	八代	2	
熊本県	芦北	1	
熊本県	球磨	2	
熊本県	天草	3	
大分県	東部	7	
大分県	中部	15	
大分県	南部	2	
大分県	豊肥	2	
大分県	西部	2	
大分県	北部	6	
宮崎県	宮崎東諸県	12	

二次医療圏集計結果

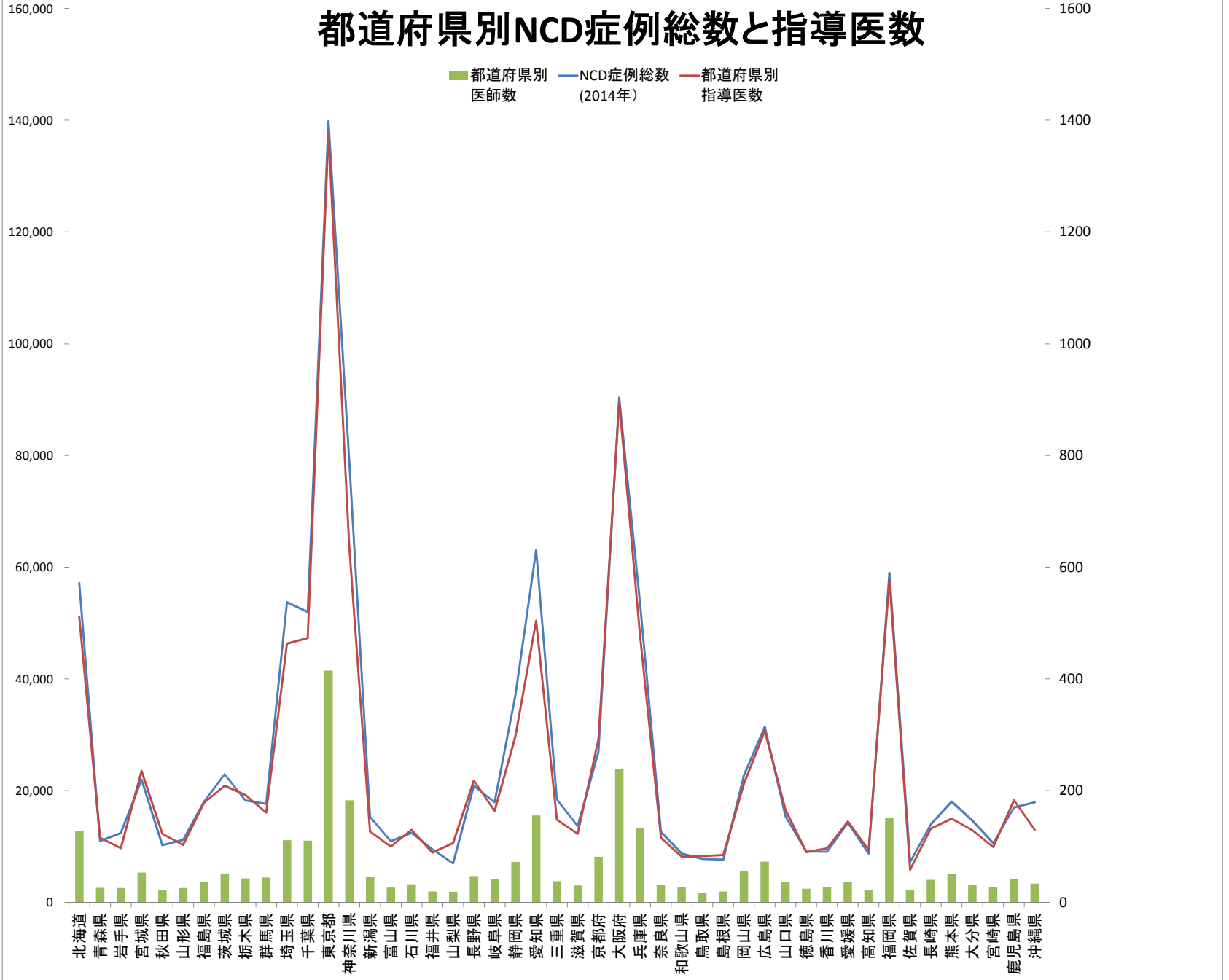
都道府県	二次医療圏名	該当施設数	過去に外科学会の施設指定を受けたことのある施設数
宮崎県	都城北諸県	5	
宮崎県	延岡西臼杵	4	
宮崎県	日南串間	2	
宮崎県	西諸	1	
宮崎県	西都児湯	0	3
宮崎県	日向入郷	2	
鹿児島県	鹿児島	17	
鹿児島県	南薩	5	
鹿児島県	川薩	4	
鹿児島県	出水	2	
鹿児島県	姶良・伊佐	5	
鹿児島県	曾於	1	
鹿児島県	肝属	4	
鹿児島県	熊毛	2	
鹿児島県	奄美	3	
沖縄県	北部	2	
沖縄県	中部	5	
沖縄県	南部	14	
沖縄県	宮古	1	
沖縄県	八重山	1	

プログラムに参加していない2次医療圏



都道府県別NCD症例総数と指導医数

■ 都道府県別 医師数
— NCD症例総数 (2014年)
— 都道府県別 指導医数



都道府県別人口比率に対するNCD症例数比率と指導医数比率

